NEDOスタートアップ支援の最新状況について

2026年10月13日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

スタートアップ支援部　吉村　友希

本日の内容

・NEDOについて

・NEDOのスタートアップ支援

・フェーズに応じた支援の全体像

・公募予定の事業、支援メニュー紹介

資料はこちらから　毎月1日更新
スタートアップ・中小企業向けNEDO支援事業紹介

NEDOについて

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

New Energy and Industrial Technology Development Organization

Mission

✓ **エネルギー・地球環境問題の解決**

燃料電池・水素、燃料アンモニア、太陽光発電、風力発電、バイオマス、地熱発電、電力ネットワーク、カーボンリサイクル 、次世代火力発電、3R、温暖化対策等

✓ **産業技術力の強化**

半導体、情報インフラ、AI、ロボット、量子、バイオものづくり、材料・製造、自動車、蓄電池、航空・宇宙等

所管	経済産業省
予算	約5,052億円（2026年度当初予算） その他、基金事業を実施（約11.3兆円）

第5期中長期計画（2023-2027）3つの取り組み

- 研究開発マネジメントを通じたイノベーション創出
- **研究開発型スタートアップの育成**
- 技術インテリジェンスの強化・蓄積

特に、“ディープテック”分野のスタートアップの育成に注力

✓ 特定の自然科学分野での研究を通じて得られた科学的な発見に基づく技術
✓ 国や世界全体の経済社会課題の解決など、社会にインパクトを与える技術
✓ 事業化、社会実装には長期間と多額の資金が必要
✓ 既存のビジネスモデルを適応できないなどの特徴

NEDOのスタートアップ支援

活動費・補助金による支援

スタートアップのフェーズに応じた研究開発支援

起業前の個人 | スタートアップ | 中小企業 | 大学・研究機関

技術シーズを活用したアイデアの事業化可能性の検証フェーズから、長期的かつ大規模な資金を要するディープテックスタートアップの研究開発、事業開発フェーズまで幅広く支援。

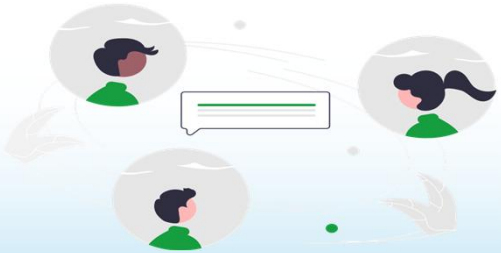


事業会社との連携、人材育成等

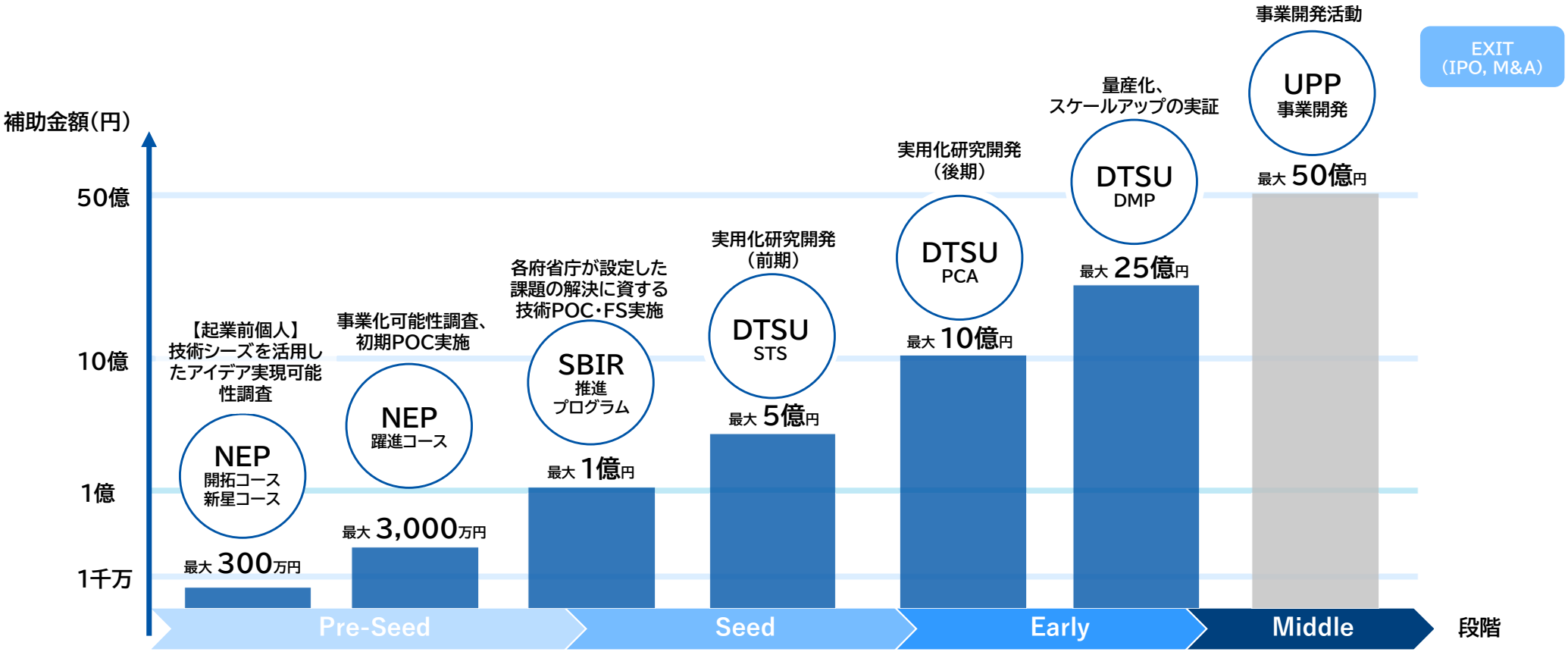
スタートアップ・エコシステム形成

スタートアップ | 民間企業 | VC 支援者等

事業会社との連携機会の提供、大学発スタートアップ経営人材の発掘・育成、起業家支援拠点やNEDOデスクによる起業・発掘支援、政府系支援機関メニューのワンストップ情報提供。



スタートアップのフェーズに応じた支援の全体像



事業会社や海外機関との連携も支援

- 大企業調達PoP最大1億円/CPP最大10億円 — スタートアップと事業会社との連携・調達の促進
- 国際共同研究開発 最大1億円 — スタートアップ・中小企業と海外企業等との共同研究を支援

スタートアップの研究開発支援補助金（～1億円）

	NEP（NEDO Entrepreneurs Program）			国際共同研究	SBIR（Small / Startup Business Innovation Research）	
	開拓コース	新星コース	躍進コース		フェーズ1	フェーズ2
補助額	300万円 迄		3,000万円 以内	1億円 以内	一気通貫型 2,000万円 以内 連続型 1,500万円 以内	一気通貫型 1億円 以内 連続型 5,000万円 以内
期間	12か月 程度		12か月 以内	原則 2-3年	原則 1年 以内	原則 2年 以内
補助率	1/1		1/1 or 3/4	2/3 以内	1/1	2/3
対象者	起業前の個人	起業前の個人（九州・女性）	起業後の法人	日本国内に登記される未上場の中小企業	日本国内に登記される原則設立15年以内の中小企業	
目安段階	Pre-Seed			Seed		
支援概要&特徴	• 起業家研修 • アイデアの実現可能性調査 • 伴走支援者、カタライザによるサポート • 潜在顧客との面談アレンジ、外部人材の紹介など		• ビジネスモデルブラッシュアップ • NEP事業の経理支援	• 対象国・事業者との共同研究を支援 • NEDOは対象国の公的支援機関と連携し、共同研究開発をサポート	• 政府機関があらかじめ設定する課題の解決に資する技術についてPoC及びF/Sの実施 • 内閣府を司令塔に公共調達や市場での展開を促進する事業	• フェーズ1の検証結果を踏まえた、実用化研究開発 • フェーズ2からの応募も可能 • 内閣府を司令塔に公共調達や市場での展開を促進する事業

スタートアップの研究開発支援補助金（1億円～）

	ディープテック・スタートアップ支援事業 DTSU (Deep-Tech Startups Support Program)			ディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業 UPP (Unicorn Promotion Program)	
	STSフェーズ Seed-stage Technology-based Startups	PCAフェーズ Product Commercialization Alliance	DMPフェーズ Demonstration development for Mass Production	事業開発	
補助額	最大 5億円	最大 10億円	最大 25億円	UPP 最大 30億円 以内	GX_UPP 最大 50億円 以内
	SG審査通過で最長6年、上限30億円				
期間	各フェーズ 1.5-2年 程度（同一フェーズ内で最長4年）			3年 以内	4年 以内
補助率	2/3 以内	2/3 以内	2/3 or 1/2 以内	1/2 or 1/3 以内	1/2 以内
対象者	日本国内に登記される未上場の中小企業（みなし大企業のぞく、設立から一定以内要件等あり）				
目安段階	Seed		Early	Middle ～	
支援概要&特徴	• 要素技術の研究開発 • 試作品の開発 • 事業化可能性調査	• 初期の生産技術開発 • 主要市場獲得に向けた可能性調査	• 商用化に向けた量産技術確立、実証 • サンプル出荷	• 事前のRFI等によって設定された領域での支援 • 商用の量産プラントの建設、他社との事業連携、量産技術の改良	

各事業の対象フェーズ

	Pre-Seed		Seed	Early	Middle
	技術シーズ発掘	初期構想の 発想・検討	試作品の開発	商用化の実現	市場開拓
製品・サービスの 開発段階	・基礎研究	・技術シーズの 活用方法の検討	・試作品の開発 ・実証研究	・試作品の改善 ・量産化開発	-
ビジネス検討段階	・技術シーズ発掘 ・起業マインドの育成	・アイデア発案と初期的な検証 ・法人設立準備	・ビジネス構想検証	・現場での実証活動 ・初期見込み顧客の獲得	・市場拡大に向けた マジョリティ層の開拓
NEP	開拓	躍進			
SBIR		フェーズ1	フェーズ2		
国際共同研究開発					
DTSU			STS	PCA	DMP
PoP/CPP			PoP	CPP	
UPP					

各事業の対象領域

	NEP	SBIR	国際共同研究開発	DTSU	大企業調達（PoP）	UPP
対象領域	ディープテック/ 鉱工業技術 ＊原子力を除く	ディープテック/ 鉱工業技術 ＊原子力を除く ＊省庁が設定する領域	ディープテック/ 鉱工業技術 ＊原子力、医薬品、再生医療等製品を除く ＊創薬プラットフォーム、医薬品開発を加速する創薬支援技術は対象		ディープテック/ 鉱工業技術 ＊原子力、医薬品、再生医療等製品を除く	ディープテック/ 鉱工業技術 ＊原子力、医薬品、再生医療等製品を除く ＊RFIで選定された領域
考え方など	医薬品、医療機器、再生医療等製品、福祉用具等すべての製品のシーズ、要素技術となるものが多いが、製品まで見えているものもある。 ライフサイエンス全般。	ニーズ元省庁（主に厚労省、経産省）の設定による。 2026年度は福祉用具、介護DX等が対象。福祉用具として取り扱われるものや介護施設での課題解決につながるものが中心。	共同研究から海外での事業拡大まで対象。医療機器だけでなく、最終的に医薬品や治療法としての確立可能性もあり。	医薬品、再生医療等製品パイプラインはAMED創薬ベンチャー事業で支援対象としているため除外。医療機器ClassⅡ－Ⅲを目指すものが多い、Ⅳもある。	事業会社の製品への導入検証。 1回目公募では、医療機器、医療DX関連で採択。 2回目公募を今後予定。	公募前にRFIを実施してその都度募集領域を設定し、第1回目公募は、医療機器・ヘルスケア製品等が対象。第2回以降の当該領域での公募は予定なし。

ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業
NEP（NEDO Entrepreneurs Program）／ 開拓コース

ディープテック分野での技術シーズを活用した
アイデアの実現可能性調査を行う起業家候補人材（FR）を支援します。



技術シーズの発掘 ▶ 初期構想の発想・検討 ▶ 試作品の開発 ▶ 商用化の実現 ▶ 市場開拓

コース	補助金額	対象者	事業期間
開拓コース	月額 25万円（税込） 上限 300万円迄 調査活動において自らが必要と判断した経費 （研究開発費、旅費・交通費、資料購入費 等）	起業前の個人 （チームを組んでいる方でも可）	12か月程度

支援のポイント

- 自由度の高い活動費の支給
- 経験豊富な統括支援者SVrと伴走支援者ARによる手厚い伴走支援
- 若手の方を歓迎（40歳未満の方優遇）

ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業
NEP（NEDO Entrepreneurs Program）／ 開拓コース

活動イメージ

- ✓ 起業家候補人材FRはNEDOへ毎月活動報告を行うと共に、月額25万円を使用して活動。
- ✓ 技術シーズを活用したビジネスアイデアの実現可能性調査を、経験豊富な伴走支援者（AR）のサポートを受けながら実施。

起業家候補人材
FR（Front - Runner）
活動内容：技術シーズの活用検討、試作品開発、
顧客理解・ビジネスモデル作成　等

相談 ↓　↑ サポート
メンタリング等

AR（Accompany-Runner）
一例　・知財コンサル
・理学博士号保持者
・VC出身者　等
業界を牽引する実績を有する伴走支援者

統括支援者 SVr

技術カタライザー
専門カタライザー

採択までの流れ

2月～3月上旬頃	3月中旬～下旬頃	3月下旬頃
書面審査	面談審査	採択決定

ねぷらぼ2027
2027年3月10－11日
開催予定





応募について

応募書類

- プロフィールシート
- 「技術の活用アイデア」等説明資料
  - └ 応募者の情報、活用する技術シーズ
  - └ 現時点での技術の活用アイデア等
- 承諾書（該当者のみ）

審査基準

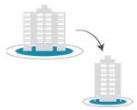
- 事業の趣旨に合致した人物か
- 育成対象とすべき人物か等

※ 特に人物面を重視
※ 応募時点で満40歳未満の者等は優遇措置有り

ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業
NEP（NEDO Entrepreneurs Program）／ 躍進コース

ディープテック分野で“具体的な技術シーズ”を活用した
ビジネスモデルを有する起業家候補人材を支援します。

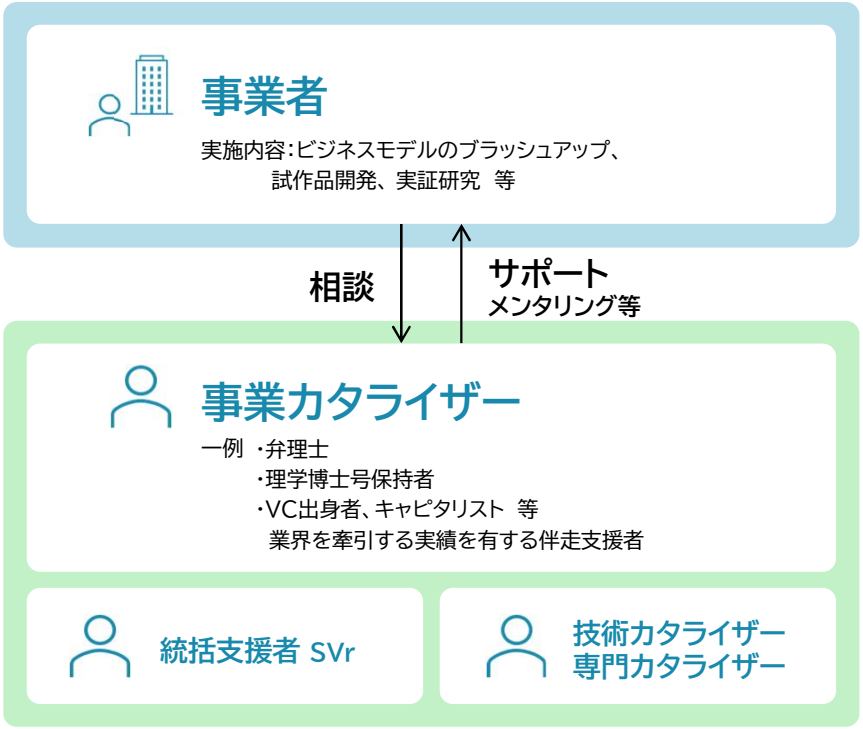
技術シーズの開発研究 ▶ **初期構想の発想・検討** ▶ **試作品の開発** ▶ 商用化の実現 ▶ 市場開拓

コース	補助対象費用 ※補助対象費用×補助率＝補助金額		対象者 応募時	対象者 交付決定先	事業期間
 **躍進500** **躍進3000** ※ 躍進3000： VC等からの出資関心確認書の 提出が必要	500 ：500万円未満	補助率 1/1	個人・チーム・法人	法人	12か月以内
	3000：3,000万円以	補助率 1/1			
 **躍進カーブアウトA** **躍進カーブアウトB** ※ カーブアウトA・B： 「支援対象証明書」の提出が必要	A：500万円未満	補助率 3/4	個人・チーム	カーブアウトを想定する 個人・チーム	
	B：3,000万円以内	補助率 3/4	個人・チーム・法人	カーブアウト後の 法人	
 **躍進GX** ※ VC等からの出資関心確認書の 提出が必要	3,000万円以内	補助率 1/1	個人・チーム・法人	法人	

ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業
NEP（NEDO Entrepreneurs Program）／ 躍進コース

活動イメージ

✓ 事業者は製品・サービスの試作品開発や、
顧客候補のフィードバック等によるビジネスモデルの
ブラッシュアップといった事業化促進の活動を
事業カタライザーのサポートを受けながら実施。



採択までの流れ

5～6月上旬頃	6月～7月	7月上旬～8月中頃
書面審査	面談審査 躍進3000・ 躍進カーブBのみ	採択決定

応募について

応募書類

- 提案書
- 技術シーズの原理確認や市場での
ニーズ確認（PoC）の内容や計画・体制、
企業化計画、他
- コースにより
「出資関心確認書」や「支援対象証明書」

審査基準

- 本事業の趣旨との整合
- 人物評価
- 技術評価
- 事業性評価
- 資金調達に関する評価

国際共同研究開発（ディープテック・スタートアップ支援基金）

海外市場への展開と早期の技術普及を目的とし、海外事業者との共同研究開発を希望するディープテック・スタートアップを支援します。

技術シーズの開発研究 ▶ **初期構想の発想・検討** ▶ **試作品の開発** ▶ **商用化の実現** ▶ 市場開拓

対象国	補助金額	対象者	事業期間
2026年度対象国 **◆欧州** オーストリア、ベルギー（フランダース地域）、エストニア、フランス、ドイツ、リトアニア、ルクセンブルク、スペイン、スイス、英国 **◆アジア** 韓国、シンガポール **◆その他エリア** カナダ、イスラエル、トルコ	**1億円以内/件** 補助率 2/3以内	・日本に登記されている未上場の中小企業 ・主要な研究開発拠点を日本国内に有する ・提案者の主任研究者は日本の居住者 ・相手国側企業等と国際共同研究開発プロジェクトを実施する見込みであって、当該企業等と共同研究契約を締結できる	原則 2～3年

公募期間：2026年10月7日～2027年1月20日
オンライン公募説明会：2026年11月4日、11月26日、12月14日

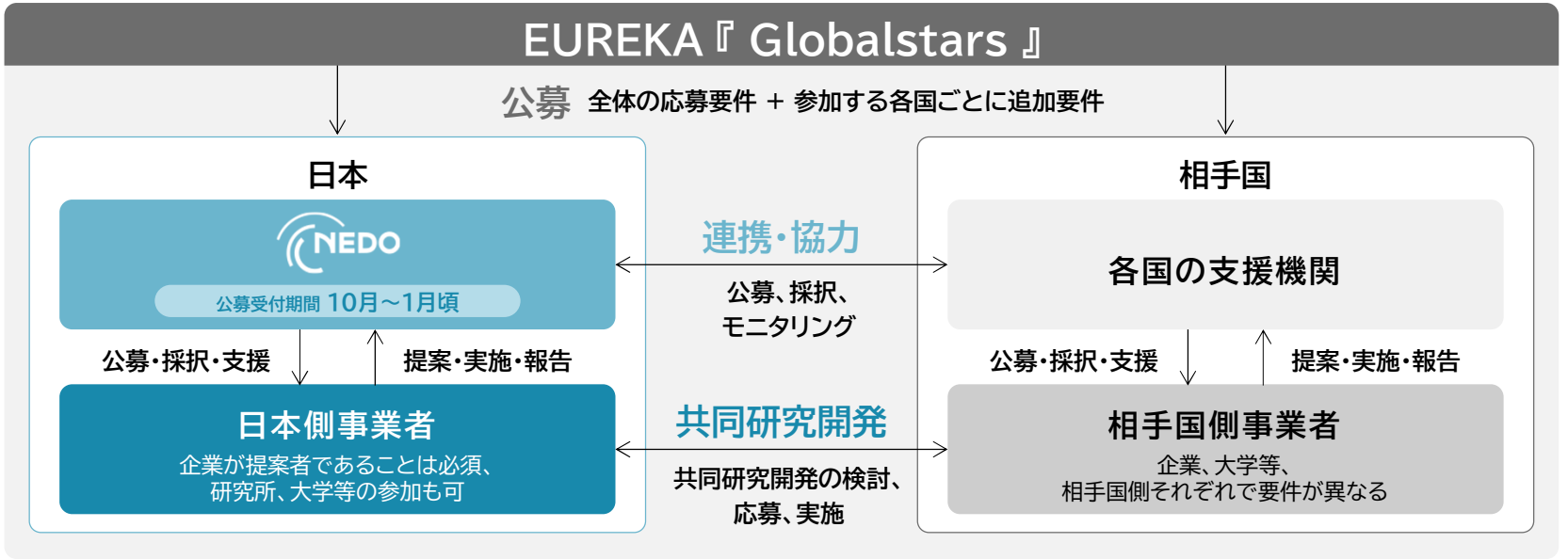
国際共同研究開発（ディープテック・スタートアップ支援基金）

事業スキーム

- ✓ 欧州を中心とする各国の研究開発・イノベーション支援機関等の国際的なネットワークであるEUREKAのGlobalstarsスキームを活用した多国間共同公募方式。

主な要件

- ✓ 未上場の中小企業であり、主要な研究開発拠点を日本国内に有すること。
- ✓ 提案者の主任研究者は日本の居住者であること。
- ✓ 相手国側事業者と、知的財産権等の取り扱いに関する共同研究契約を締結できること。



大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業
PoP（Proof of Product）

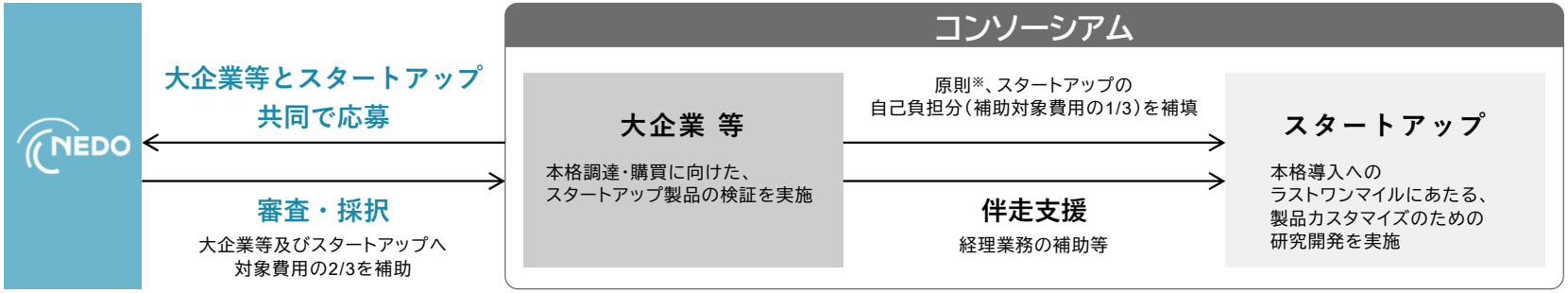
ディープテック・スタートアップと、その製品等の調達・購買を希望する大企業等を対象に、
本格的な調達・購買に至るための製品カスタマイズや製品導入検証を支援します。

技術シーズの開発研究 ▶ 初期構想の発想・検討 ▶ **試作品の開発** ▶ 商用化の実現 ▶ 市場開拓

対象者	補助金額	事業期間
革新的な技術の研究開発に取り組んでいる ディープテック・スタートアップと、 その製品・サービスの調達・購買を希望する大企業等。	**1億円以内/件**　補助率 2/3 補助対象費用全体のうち、70％以上は スタートアップの費用であることが必要	1年程度

事業概要

2026年11月頃公募予定



※ スタートアップ側による辞退の意向がある場合は除く

起業家支援拠点　K-NIC

Kawasaki-NEDO INNOVATION CENTER

NEDO



NEDO
研究開発型スタートアップの成長支援やマッチング促進

×

川崎市
市内のインキュベーション施設の集積を活かした支援

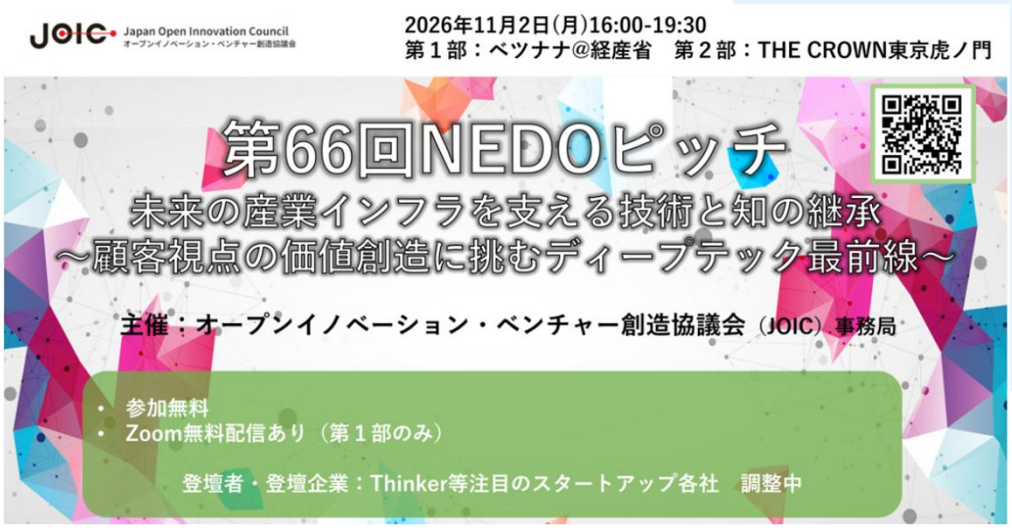
×

川崎市産業振興財団
地域のネットワークを活かした伴走型の事業支援

=

研究開発型スタートアップ & 起業家のためのワンストップ支援拠点
Kawasaki-NEDO Innovation Center（K-NIC）

オープンイノベーションの促進





オープンイノベーションの機会創出

オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会

- NEDOピッチ（アグリテック、ロボティクス等、各回テーマを設定）
- NEDOプライベートピッチ（事業会社1社に対して実施するイベント）
- ディープテック・スタートアップに関する情報提供　　など

各地のNEDOデスク

全国の経済産業局とNEDOが連携し、技術開発に取り組む企業等からの相談に応じてNEDO の支援策を説明するほか、地域における行事やイベントでNEDOの活動を紹介しています。

～直近日程～
★近畿NEDOデスク
10月26日～27日,11月24日～25日
★関東NEDOデスク
10月21日、11月18日



近畿NEDOデスク
近畿経済産業局 地域経済部・スタートアップ推進室
E-mail：kansai-nedodesk@nedo.go.jp

北海道NEDOデスク
北海道経済産業局 地域経済課
E-mail：bzl-hokkaido-chiikikeizai@meti.go.jp

四国NEDOデスク
四国経済産業局 新規事業推進課
E-mail：exl-nedo-shikoku@meti.go.jp
Tel　：087-811-8517

東北NEDOデスク
東北経済産業局 産業技術革新課　Tel：022-221-4897
相談依頼 https://www.tohoku.meti.go.jp/s_sangi/nedo.html

中国NEDOデスク
中国経済産業局 イノベーション推進課
E-mail：bzl-cgk-inovation@meti.go.jp
Tel　：082-224-5680

関東NEDOデスク
関東経済産業局 産業技術革新課 総括班
E-mail：bzl-s-kanto-kakushin@meti.go.jp
Web　：https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/innov/kanto_nedo_desk.html
Tel　：048-600-0236

九州・沖縄NEDOデスク
九州経済産業局 産業技術革新課
Tel　：092-482-5465
内閣府沖縄総合事務局 地域経済課
E-mail：bzl-oki-gijutsu@meti.go.jp
Tel　：098-866-1730

中部NEDOデスク
中部経済産業局 イノベーション推進課
E-mail：bzl-chubu-nedodesk@meti.go.jp
Tel　：052-951-2774

政府系スタートアップ支援機関プラットフォーム /Platform for unified support for startups(Plus)

政府系スタートアップ支援機関

ワンストップ窓口

Plus One

- ✓ Plusでの22機関間連携を活用し、一元的な相談体制を構築
- ✓ 受けたい支援タイプのタイプ別検索が可能

ご利用の流れ

フォームより
お問い合わせ

運営事務局

- メール、電話、オンライン面談等で相談
- 参加機関の支援メニューから最適なものをご紹介

必要に応じて
各機関へ連携

参加機関

シード期
技術シーズ創出・研究開発・人材育成支援

アーリー期
支援・ファンディング

エクスパンション期
海外展開支援

金融支援・投資

知財支援